

サロンド南2021の開催にあたって

紅葉が鮮やかさを増し美しさを感じるこの時期、瑞浪南中学校全校焼き物作品展「サロンド南2021」が開催できることに喜びを感じます。また、生徒たちが夢中になって、ものづくりを楽しめるようご尽力頂いた講師の方々や参観して頂いた皆様に感謝申し上げます。

現在の学校生活の中で「安心できる繋がり」を生み出すことは、大きな課題となっています。生徒たちが地域の伝統文化でもある焼き物づくりを通して、自分たちがつくった作品への思いを地域に発信することで、「仲間との繋がり」「家族との繋がり」「地域との繋がり」を深めていくことを願っています。

こうした願いのもと、テーマを「ワクワクするカタチ」としました。生徒たちが思う存分に粘土の感触を楽しみ、制作に没頭することで表現する喜びを味わいながら、ドキドキできる自分、ワクワク感がある学校を目指していきたいです。思春期の微妙な心の揺らぎを抱えている中学生一人一人の思いを、作品を通して感じて頂けたら幸いです。

今回の1年生の「スーパー鯨（しゃちほこ）」は、鯨が放つとても強いエネルギーをダイナミックな形に表しました。自分の手でつくった鯨がスーパーな存在であることが、様々な形となって表れています。

2年生の「自然物からの造形」では、自然物の美しさや面白さを形に表しました。目を見張る自然の美しさ、細部に至るまで繊細な自然のリズム、それらが粘土で形づくられていくことにワクワクがありました。

3年生の「15歳の器」は、中学校の卒業制作でもあります。15歳は、自分の進路に期待しながらも悩める時期です。そんな揺れ動く自分を見つめながら、自分がこだわる「器」の形に表しました。悩み（ドキドキ）ながらも期待（ワクワク）できる自分を見つけられたらと思います。

こうした生徒たちの思いが皆様に伝わること、参観された方々の声が生徒たちに届くことで、生徒自身が自分にある可能性や地域の素晴らしさを改めて感じる機会となることを願っております。